

日 本 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24060015 (日本史)〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。欄外の余白には何も記入しないこと。
4. 試験が開始されたら、ただちに解答用紙の所定欄に、受験番号および氏名を正確に丁寧に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄（1か所）には氏名のみを記入すること。
5. マーク欄は、はっきりマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～8に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

人々は、つねに病や災害に遭遇し、ついには死をまねくことがある。その記録は、古代にも多くみられ、8世紀には、天然痘と思われる疫病が、数度、大流行している。まず、735年の夏から冬にかけて大流行し、これに不作も重なって、とくに大宰府管内に被災者や病死者が多く出た。舎人親王^aも、この年の冬に亡くなっているが、その死は、天然痘の流行にも原因があったのではなかろうか。ついで、わずか2年後の春から秋にかけて、同じ疫病が再び猛威を振るった。この年は、旱魃もあり、大宰府管内をはじめ、宮都を含む広い範囲に蔓延した。いわゆる藤原四子^bが相次いで亡くなったのは、この時であり、政治情勢や体制にも大きな変化をもたらすことになった。

さらに、天然痘と思われる疫病は、790年の秋から冬にかけても流行している。この年も旱魃と重なり、京・畿内では30歳以下の者が多く発症し、死に至る者もいた。そして、このような事態は京・畿内にとどまるものではなかった。^dさらに、この年には、皇后が死去し、皇太子の体調も思わしくなかった。また、前年には皇太后^fが亡くなっている。これらの死や病が、すべて疫病によるものとは言えないが、少なくとも、疫病の蔓延をとめないながら、社会不安や政治的動揺を増幅させたことは確かである。

たとえば、少しさかのぼって785年、長岡京造営を主導していた藤原種継^gが暗殺された。そして、この事件に関与した疑いで、時の皇太子 A が廃太子となり、死に追いやられた。ところが、その後、さきの疫病流行と、その前後における皇太后、皇后、皇太子の相次ぐ死や病とに遭遇して、亡き A の排斥と不自然死が想起され、次第に、A の祟りが恐れられるようになった。9世紀半ばになると、A とそれ以外の怨霊を鎮め、疫病を防ぐための祭礼や法会がはじまり、その行事は今日にも継承されている。

問1 下線部gが所在する国名を、当時の漢字表記で記せ。

問2 空欄 A に該当する親王の名を記せ。

問3 下線部aの人物に関する説明で正しいものはどれか。

- ア 『古事記』を編纂した。
- イ 天智天皇の子である。
- ウ 国分寺造営を推進した。
- エ 草壁皇子と同母である。
- オ 淳仁天皇の父である。

問4 下線部bの藤原四子のうち、南家の祖とされる人物名で正しいものはどれか。

- ア 麻呂 イ 武智麻呂 ウ 宇合 エ 房前 オ 仲麻呂

問5 下線部cに関する説明で正しいものはどれか。

- ア 橘諸兄が太政大臣になった。
- イ 入唐経験のない玄昉が重用された。
- ウ 吉備真備は唐から一切経を持ち帰った。
- エ 大宰帥であった藤原広嗣が挙兵した。
- オ 聖武天皇は、恭仁、難波、紫香楽などに遷都を繰り返した。

問6 下線部 d に関する説明で正しいものはどれか。

- ア 30歳以下の者は次丁と呼ばれた。
- イ 30歳をもって区分する年齢別の税負担制度は存在しない。
- ウ 平安時代の戸籍では30歳以下の男がほぼ全体を占めている。
- エ 30歳以下の者は戸主になることができない。
- オ 30歳以下の者は雑徭が課せられない。

問7 下線部 e の人物に関する説明で誤っているものはどれか。

- ア 祖父は光仁天皇である。
- イ のち天皇在位中、二所朝廷とよばれる体制をとった。
- ウ 父の没後に即位した。
- エ 皇太子時代に最澄が入唐した。
- オ 藤原仲成を重用した。

問8 下線部 f に該当する人物で正しいものはどれか。

- ア 高野新笠 イ 藤原光明子 ウ 藤原宮子 エ 吉備内親王 オ 畠山義親

Ⅱ 次の文章および史料について、下記の問1～7に答えよ。問6・7については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問1～5については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。但し設問を設定していない空欄もある。

中世における農業生産は、大規模な耕地開発などよりはむしろ、限られた耕地を集約的に利用して生産力を高めるという方向で発展していった。そのためこの時代には、農業技術の面での改良が著しかった。例えば農具では、10世紀後半に成立した文学作品には、史料1のようなくだりがあり、西日本の農村地帯では既に 1 が行われていたことが知られる。また、史料2・3は12～13世紀に書かれたものであるが、この時代、肥料の面でも著しい改良が加えられていたことが分かる。さらにこの時代には新品種の稲の導入が進み、これまで開発の難しかった低湿地などの開発が進められていった。この結果、豊かになった農村では、農民自身による自治的な運営がなされるようになり、そうした農村同士の連帯も進んでいった。

〈史料1〉

種松⁽ⁱ⁾が牟婁⁽ⁱⁱ⁾の家、四面廻りて……一町ばかり作り廻りてあり。牛どもに 2 かけつつ、男ども緒もちて鋤く。
注) (i) 種松：この物語の登場人物の名。 (ii) 牟婁：和歌山県南部の地名。

〈史料2〉

当牧の法、元三日⁽ⁱ⁾以後、柴を採りて 3 と為し、御供田⁽ⁱⁱ⁾に入れ、肥やしむる者なり。この能治⁽ⁱⁱⁱ⁾なくば、浅薄^(iv)の田地、いよいよ荒廃せしめ、作物登り難きものか。

- 注) (i) 元三日：正月三日のこと。 (ii) 御供田：神仏への供米を作る田。
(iii) 能治：才能、知識。 (iv) 浅薄：生産力が低いこと。

〈史料3〉

苗草を山田の小田にかりしきて そしろ⁽ⁱ⁾の室⁽ⁱⁱ⁾の種は蒔きける
注) (i) そしろ：狭い田地。 (ii) 室：早稲のこと。

問1 下線部 a に該当する文学作品はどれか。

ア 伊勢物語 イ 更級日記 ウ 竹取物語 エ 土佐日記 オ 宇津保物語

問2 空欄 1 に該当する語句はどれか。

ア 二毛作 イ 三毛作 ウ 三斎市 エ 牛馬耕 オ 田楽

問3 空欄 2 に入る語句は次のうちどれか。

ア 鎌 イ 犁 ウ 踏車 エ 鋤 オ 斧

問4 下線部 b についての説明として誤っているものはどれか。

ア インドシナ半島原産である。
イ 粒の形状が細長いのが特徴である。
ウ 1反あたりの収穫量が少ない。
エ 病虫害や干害などの災害に強い。
オ 粒が赤味を帯びている。

問5 下線部 c に関連して、惣と呼ばれる農村についての説明として誤っているものはどれか。

ア 寄合を開いて惣掟を定めた。
イ 灌漑用水や入会地の山野などを共同で管理した。
ウ 宮座を結成し、鎮守社で祭礼をおこなった。
エ 年貢の減免を領主と交渉し、惣の責任でこれを納めた。
オ 村内で起きた犯罪に対し自検断をおこない、犯人を守護に引き渡した。

問6 <史料2>で説明されている肥料を何と呼ぶか。漢字で記せ。

問7 <史料3>では何と呼ばれる肥料の使い方が歌われているか。漢字で記せ。

Ⅲ 次の史料は大塩平八郎が村々へ発した檄文である。これを読み、下記の問1～10に答えよ。問1～3については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

四海^国ごんきういたし候はば、天禄ながくたん、小人に国家をおさめしめば災害ならび至ると、昔の聖人深く天下後世人の君、人の臣たる者を御誠め置かれ候ゆへ、東照神君^{かみかきどく}にも、鰥寡孤独^{こく}において尤あわれみを加ふべくは、これ仁政の基、と仰せ置かれ候、(中略)天子は A 家以来別して御隠居御同様、賞罰^{へい}の柄を御失いに付、下民の怨み何方へ告訴とてつけ訴ふる方なき様に乱れ候付、人々の怨気天に通じ、年々地震火災山も崩れ水も溢れるより外色々様々の天災流行、終に五穀飢饉に相成り候、(中略)この節米価いよいよ高直に相成、 B の奉行ならびに諸役人ども万物一体の仁を忘れ、得手勝手の政道をいたし、 C へ廻米をいたし、天子御在所の D へは廻米の世話も致さずのみならず、五升一斗位の米を買いに下り候ものどもを召し捕りなどいたし、(中略)三都の内、 B の金持ちども、年来諸大名へかし付候利徳の金銀ならびに扶持米などを莫大に掠め取り未曾有の有福に暮らし、^b町人の身をもって大名の家老用人の格などに取り用いられ、又は自己の田畑新田などを夥しく所持、何に不足なく暮らし、この節の天災天罰を見ながら畏まりも致さず、餓死の貧人乞食をもあえて救わず、(中略)このたび有志のものと申し合わせ、下民を悩まし苦しめ候諸役人を先ず誅伐いたし、引き続き驕りに長じおり候 B 市中金持ちの町人どもを誅戮および申

すべく候間、右の者ども穴蔵に貯め置き候金銀錢など、諸 **E** 内に隠し置き候俵米、それぞれ分散配当いたし遣わし候間、撰 **F** 泉播の内、田畑所持致さざるもの、たとへ所持いたし候とも、父母妻子家内の養い方出来がたきほどの難渋者へは、右金米など取らせ遣わし候間、いつにても **B** 市中に騒動起こり候と聞き伝へ候はば、里数を厭わず一刻も早く **B** へ向かい駆け参るべく候（後略）

問1 この檄文を発した大塩平八郎が開いていた塾を何というか。漢字で記せ。

問2 下線部 c は、空欄 **F** を含めて、この檄文が廻された四つの旧国名を意味する語である。空欄 **F** に入る語を漢字一字で記せ。

問3 大塩平八郎が起こした事件のあと、水戸藩の徳川斉昭から将軍に提出された幕政改革の意見書を何というか。漢字で記せ。

問4 空欄 **B** **C** **D** に入る都市名の組み合わせとして、正しいものはどれか。

- ア B 江戸 C 京都 D 大坂 イ B 江戸 C 大坂 D 京都
ウ B 大坂 C 江戸 D 京都 エ B 大坂 C 京都 D 江戸
オ B 京都 C 江戸 D 大坂

問5 空欄 **A** に該当する語はどれか。

- ア 源 イ 橘 ウ 平 エ 足利 オ 藤原

問6 下線部 a に関する説明で正しいものはどれか。

- ア この人物が将軍のとき、島原天草一揆が起きた。
イ この人物が将軍のとき、関ヶ原の戦いが起きた。
ウ この人物は、豊臣秀吉のもとでは五奉行の筆頭であった。
エ この人物を祀る日光東照宮は、霊廟建築の代表として知られている。
オ この人物を祀る神社は日光の一社のみである。

問7 下線部 b に関連して、江戸時代の町人に関する説明として、正しいものはどれか。

- ア 町人の資本による新田開発は、町人の実力を高めることになるので、江戸時代を通じて禁止された。
イ 町内に屋敷を持つ町人を町名主といい、地借・店借を支配した。
ウ 家持の町人には、町人足役など負担しなければならない役があり、町の自治を担った。
エ 町人の居住地は、武家の居住地とは基本的に区別されなかった。
オ 地借・店借にも負担しなければならない役があったので、町の運営に参加した。

問8 空欄 **E** に該当する語はどれか。

- ア 蔵屋敷 イ 義倉 ウ 宿駅 エ 社倉 オ 町会所

問9 大塩平八郎が起こした事件より、後に起こったものをすべて選べ。

- ア 異国船打払令発令 イ フェートン号事件 ウ 蛮社の獄 エ 尊号事件
オ ラクスマン来航 カ クナシリ・メナシの蜂起 キ 三方領知替え撤回

問10 この檄文が述べていることとして、正しいものを二つ選べ。

- ア 天災は是非もないので、質素儉約で厳しい状況を乗り切ろう。
- イ 諸役人が仁政に背く行為を行っていることを訴えるため蜂起するから、みなも一緒に加わってほしい。
- ウ 幕府に代わって朝廷に施行を要求しようと思うので、生活の苦しい者は遠慮なく申し出てほしい。
- エ 富裕な町人が、不当に金を蓄えているにも関わらず、貧者を救おうとしないのはけしからん。
- オ 質流れとなった田畑を取り返すために、みなで豪農宅へ押しかけよう。

Ⅳ 次の史料A～Eを読み、問1～6に答えよ。問1～3は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

A (前略) 輓近⁽ⁱ⁾ 學術益々開ケ人智日ニ進ム。然レトモ浮華放縱ノ習 漸ク萌シ輕佻 詭激ノ風モ亦生ス。今ニ及ヒテ時弊^{あらた}ヲ革メスムハ或ハ前緒⁽ⁱⁱ⁾ヲ失墜セムコトヲ恐ル。況ヤ今次ノ災禍甚タ大ニシテ文化ノ紹復⁽ⁱⁱⁱ⁾ 国力ノ振興ハ皆国民ノ精神ニ待ツヤ。是レ実ニ上下協戮^(iv) 振作更張^(v)ノ時ナリ。

- 注) (i) ちかごろ (ii) 先人の遺した事業 (iii) 再興すること
(iv) 協心戮力、心も力も合わせること (v) 今までゆるんでいたことを改めて盛んにすること

B 今般、諸国大小之神社ニオイテ神仏混淆^{こんぶう}之儀ハ御廃止ニ相成候ニ付、別当社僧之輩ハ、還俗之上、神主社人等之称号ニ相転シ、神道ヲ以テ勤仕致スヘク候。

C (前略) 戦後日尚浅ク庶政益々更張ヲ要ス。宜ク上下心ヲ一ニシ忠実業ニ服シ勤儉産ヲ治メ、惟レ信惟レ義、醇厚^{じゆんこう}(i) 俗ヲ成シ華ヲ去リ実ニ就キ荒怠相誡メ自彊⁽ⁱⁱ⁾ 息マサルヘシ。(中略) 爾臣民其レ克ク朕カ旨ヲ体セヨ。

- 注) (i) 人情などの厚いこと (ii) みずから勉めて励むこと

D 挙国一致堅忍不拔ノ精神ヲ以テ現下ノ時局ニ対処スルト共ニ今後持続スベキ時艱ヲ克服シテ愈々皇運ヲ扶翼シ奉ル為官民一体トナリテ一大国民運動ヲ起サントス。

E (前略) 若し夫れ統治権が天皇に存せずして天皇は之を行使する為の機関なりと為すが如きは是れ全く万邦無比なる我が国体の本義を愆るものなり。近時憲法学説を繞り国体の本義に関連して兎角の論議をみるに至れるは寔に遺憾に堪へず。

問1 Bの法令の名称を漢字で記せ。

問2 Cを受けて、町村行財政の再建などの諸政策が推進されたが、それらを総称して何と呼ぶか。漢字で記せ。

問3 Dの文章中の「一大国民運動」とは何のことか。その名称を漢字で記せ。

問4 Cが出される少し前から実施されていた神社の合祀(神社の合併)に対して、和歌山県で反対運動をリードした人物は誰か。

- ア 柳宗悦 イ 南方熊楠 ウ 柳田国男 エ 幸徳秋水 オ 新渡戸稲造

問5 Bの後の宗教政策に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア 政府は1868年、長崎浦上のキリシタンを各地に流罪にした。
- イ 1870年には、神道国教化の推進を表明した「大教宣布の詔」が發布された。
- ウ 浄土真宗本願寺派の島地黙雷は、政府の神道国教化政策を批判した。
- エ キリシタン禁制の高札は1873年に撤去された。
- オ 神道国教化政策は結局失敗に帰したが、神社神道以外の神道諸派は公認されなかった。

問6 A～Eに関する説明として、正しいものはどれか。

- ア Aの「軽佻詭激ノ風」とは、昭和初期のマルクス主義思想を指している。
- イ Bは神主社人に還俗を命じたために、各地で激しい廃仏毀釈の運動が起こった。
- ウ Cの詔書が出された時の首相は、桂太郎である。
- エ Dは1937年に出された詔書の一部である。
- オ Eは明治末の国体をめぐる論争の中での、上杉慎吉の発言である。

V 次の文章を読み、問1～6に答えよ。問1・2は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

戦後日本の約30年間は、経済の面では、1945年の敗戦から1954年までの復興期^aと、1955～1973年の高度経済成長期^bに区分することができる。1955年は一人あたりの実質GNP（国民総生産）が戦前の水準を超えた年であり、1956年の経済白書（1955年度を対象とする）が、「A」と述べ、戦後の復興期が終わり日本が新たな出発点に立った、と指摘したことはよく知られている。

経済成長率だけをとるならば、朝鮮戦争の特需ブームから高い成長率は始まっているが、技術革新と設備投資にもとづく持続的な経済成長は1955年以降のことであり、年率B%前後の経済成長が1973年秋に石油危機が起こるまで続いたのである。もっとも、高度成長は1955年から始まっていたとはいえ、人びとが大きな変化を実感したのは、1960年代に入って大半の家庭に「三種の神器^c」が普及し、「マイカー」ということばが生れ、東海道新幹線が開通し、東京オリンピックが開催されたころのことだったといわれる。

しかし、急激な経済成長は公害防止対策を怠ったことで可能になったのである。その結果、1960年代中ごろには工場排水による水汚染や煤煙による大気汚染が全国に広がり、日本列島は公害列島^dの様相を呈した。そして、そうした事態に対する批判の声が高まり、公害反対運動や公害訴訟が起こると、1967年には公害対策基本法が制定された。

問1 空欄Aに該当することばを記入せよ。

問2 下線部cの「三種の神器」といわれる家電製品名を記せ。

問3 空欄Bに該当する数字を選べ。

- ア 4 イ 7 ウ 10 エ 13 オ 15

問4 以下の(い)～(に)は、下線部aの時期のできごとである。時代順に並べると正しいものはどれか。

- (い) 1ドル360円の単一為替レートが設定された。
 - (ろ) インフレーションを阻止するために、金融緊急措置令が出された。
 - (は) 日本労働組合総評議会が結成された。
 - (に) 流血の大乱闘となったメーデー事件が起こった。
- ア (い)→(ろ)→(に)→(は) イ (ろ)→(い)→(は)→(に)
ウ (に)→(ろ)→(は)→(い) エ (は)→(に)→(い)→(ろ)
オ (い)→(ろ)→(は)→(に)

問5 下線部bの時期のできごとに該当しないものをすべて選べ。

- ア 日米貿易摩擦が深刻化し、ジャパン・バッシングが起こった。
- イ 減反政策が開始された。
- ウ 田中角栄著『日本列島改造論』がベストセラーになった。
- エ 固定為替相場制から変動為替相場制に移行した。
- オ 繊維と鋼材の需要が増大し、「糸へん金へん」景気といわれた。
- カ 高校進学率が8割を超えるようになった。
- キ 第二種兼業農家が過半を占め、「三ちゃん農業」が一般化した。

問6 下線部dに関することからの説明として、誤っているものはどれか。

- ア 水俣ではすでに1950年代に動物や人体に異変がみられ、「水俣病」と名付けられたが、政府が水俣病の原因を正式に認めたのは1968年である。
- イ 作家の石牟礼道子は、水俣病の悲惨さに直面して『苦海浄土―わが水俣病―』を著した。
- ウ 四大公害訴訟のうち、水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病は、いずれも工場から排出される有機水銀が原因であった。
- エ 四大公害訴訟は、1973年までにいずれも原告側が勝訴した。
- オ 公害対策基本法は1970年に改正され、公害を犯罪として処罰する法律が制定された。

〔以 下 余 白〕

